

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

JULY 1921 No. 42.

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)
大正十年七月二十日發行

大正十年七月

青島實業協會

月報

第四拾貳號

△本號要目▽

- | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ☐ 資 | ☐ 貿 | ☐ 海 | ☐ 商 | ☐ 銀 | ☐ 經 |
| 料 | 易 | 運 | 況 | 塊 | 濟 |
| | | 及 | | 並 | 統 |
| | | 鐵 | | 英 | 計 |
| | | 道 | | 米 | |
| | | | | 爲 | |
| | | | | 替 | |
| | | | | 相 | |
| | | | | 場 | |

▽青島實業協會月報 第四拾貳號 目次△

資 料

△鹽の需給調節策……………一

貿 易

△青島貿易概況(五月)……………一〇

△主要輸出入貨物情勢(五月)……………二

△民船貿易概況(五月)……………二

海 運 及 鐵 道

△青島港出入船舶(五月)……………一三

△內地近海傭船運賃近況……………一三

△南支就航船激增……………一四

△本邦汽船配船狀況……………一四

△三驛發著主要貨物情勢(六月)……………一五

△埠頭營業倉庫業況(五月)……………一六

△焚料積取增加……………一六

商 況

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □白米 □花生仁 □花生

油 □鷄卵 □桐材 □石炭 □鹽……………

銀塊並ニ英米爲替

△大正十年六月中表示……………二〇

寄 贈 書 類

△大正十年六月中到著分……………二〇

資 料

鹽の需給調節策

(時事新報所載)

鹽需給調節問題に關しては目下臨時財政經濟調查會同特別委員會に於て之が根本方策に就き審議中なるが本問題解決の難點は米需給調節問題等と全然趣を異にし鹽不足より生ずる調節難に非ずして寧ろ生産過剰に對する緩和難と稱す可く試みに最近數ヶ年に於ける鹽需給の大勢を見るに需要高即ち專賣局の賣渡高は大正元年度の十一億一千七百萬斤より數年間は大なる増減無く略十一億斤臺より十三億斤臺を上下し大正八年度に至つて一躍十六億六千二百萬斤の大需要を生ぜしも之れ素より一時的變調たるに過ぎず即ち大戰以來化學工業曹達工業の勃興其他種々の原因に依り逐年鹽に對する需要増加しつゝありし矢先大正七年に至つて内地鹽田稀有の大凶作に遭遇し平年作より約三億四千二百萬斤の減收即ち六億七千萬斤を收納し得たるに止まりし結果忽ち給供不足となり之が反動として大正八年度の需要高は前記の如く十六億六千二百萬斤の巨額に達せる次第なるが大正九年春財界動搖以來曹達工業其他鹽を原料とする諸工業の蒙りたる打撃甚しく且つ沿海州方面に於ける漁業亦西伯利の形勢惡化と共に漸次不振に陥れるのみならず前年度に於ける買入過剰と運賃及銀塊相場の關係より先安相場を見越せる消費者側に於て一齊買控への態度を採りし爲め九年度中に於ける賣渡高は豫

想外に小額に上り十二億二千四百萬斤に激減し十年度への持越高約五億斤を算するに至れるが既に先月來輸入鹽の購買價格引下を斷行し最近又内地鹽の賠償價格引下及び之に伴ふ賣渡價格の引下を完了せる結果漸次消費者側の買氣を唆り賣渡高の増加となり結局本年度の賣渡見込高は約十五億斤と見るを以て妥當となすが如く斯くて大正七年度凶作以來の反動的需狀態漸く平調に復するを得可く現狀を以て推せば將來數年間多少の増減を免れずとするも先づ十五億斤臺を彷徨するものと見て可なる狀態にあり然に翻つて供給の狀況を見るに先づ内地鹽田に對しては明治卅八年鹽專賣開始以來現狀維持の方針を以て進み明治四十四年に亘り約一千八百町歩の整理を行ひしも大正九年度初に於て尙五千八百九十四町歩の採鹹地を存し大正七年度の凶作の如きを除き其の生産高は大正元年以來九億斤臺乃至十億斤臺を上下し平均十億一千四百萬斤を以て平年作となしつゝあり然るに輸入鹽は鹽に對する需要増加に伴ひ内地鹽の不足を補填する爲に漸次其數量を増加し同時に各殖民地に於ける鹽田は近年著しく擴張新設せらるゝに至れるが殊に青島鹽田の如き日支經濟提携の見地より同地守備軍民政署が連に製鹽事業に對する内地人の投資を奨勵したると大正七年内地鹽田の大凶作に際し一時に移輸入鹽の増加したるに刺戟せられたる結果同地に於ける鹽田は大正七八年以來著しく擴張せられ大正六年度に於ては一千九百五十九町歩に過ぎざりしものが最近に至つては邦人經營九百九十四付支那人經營一千七十四付合計二千六十八付即ち約四千百十三町歩を算するに至り尙ほ開設許可面積著手未著手合計一千六百五十九付即ち三千三百十八町歩を有する狀態にあり新領土若くは之に準ず可き海外各地の鹽業發達の狀況

上の如きものあるに而も唯一の消費先たる内地の需要高は略一定して茲數年の間十五億乃至十六億の上に出でざる可き状態にある結果終に近年に至つて鹽の生産額は著しく其の需要額を超過するに至り昨年度の如き約五億斤の持越高を餘して甚しき生産過剰の事實を示せり今各主要産地の内地に對する供給可能額を表示すれば左の如し(單位千斤)

産地	平年生産額	産地需要高	内地供給可能高
内地	九八二、六〇〇	—	九八二、六〇〇
臺灣	二二四、一〇二	六九、五三〇	一五四、五七七
關東州	二二八、五五七	一八、八五三	二〇九、七〇四
青島	四五八、八八〇	一二、〇〇〇	四四六、八八〇
合計	一八九四、一四四	一〇〇、三八三	一七九三、七六一

即ち内地供給可能高は平年作に於て約十七億九千三百萬斤なるに對し内地消費高は前述の如く十五億斤乃至十六億斤を出でざる結果年々約二億乃至三億の供給超過を見る可き状態にあり然れば之が緩和策としては内地鹽及殖民地鹽に對し適宜其の生産額を制限するの外無く而も一步其の對策を誤んか内地鹽業の根底に一大動搖を與へ或は折角隆盛の域に向へる殖民地鹽業を一舉に瓦解衰亡せしむるの結果を招來すべく内地殖民地を通じて鹽需給調節の根本問題に對し如何に一貫したる大方針を確立す可きや之れ本問題の眼目にして更に價格の關係之に關聯し燃料勞銀を要する事多く従つて生産費大なる内地鹽と全然燃料を要せず且つ小額の勞銀を以て足る殖民地の天日鹽と其の何れを擇む可きや素より之を一般消費者より見れば後者を以て有利と爲すや明かなれども而も一方内地製鹽保護の必要亦閑却す可からず然れば鹽需給調節問題は内地及殖民地鹽の生産配分を徑とし更に之が價格の關係を緯として内容頗る錯雜し之が根本對策の

解決に就きては臨時經濟調查會同特別委員會に於ても議論多岐に分れて容易に意見の一致を見る能はざる可しと觀測せられつゝあり。

鹽需給調節問題の眼目は大體上記の如くなるが之れが根本的解決策として臨時經濟調查會同特別委員會並びに關係當事者鹽業者等の抱ける議論を述ぶるに先き立ち内地鹽田及び各殖民地鹽田の概況を一瞥するに先づ内地鹽田は現在約五千九百町歩の採鹹地反別を有し大正九年度現在に於て製造人員九千八百人製造場數五千七百八十九生産高は年々多少の増減を免れずと雖も約十億一千四百萬斤を以て平年作とし製造方法及生産許可高左の如し

(大正九年四月一日現在)

製造法別	製造場數	一ヶ年度生産見込許可高
鹽田製鹽(入揚)	四、二八四	一、〇〇五、八六七
海水製鹽	九五七	一七、一四四
試製鹽	三六六	五二、〇〇〇
副產鹽	二	四五〇
鹽土製鹽	一六九	二四、〇二五
計	一	二二五
再製鹽	五、七八九	一、二〇〇、三九八
合計	四一	一〇八、六七一
	五、八三〇	一二〇九、〇六九

即ち製造場數よりするも生産許可高よりするも内地鹽の大部分は鹽田製鹽即ち煎熬鹽なる事一瞥し得可く従つて之に要する生産費の天日鹽たる臺灣鹽關東州鹽青島鹽等に比し相當多額に上るは誠に止むを得ざる所にして之等各地製鹽の生産費比較に就ては後段に詳述する所有る可きも今内地鹽に就き其百斤當生産

費内譯を示せば左の如し(單位厘)

費目	大正五年度	同六年度	同七年度	同八年度
鹽田及器具修理費	七四	八四	一三六	一三四
燃料費	二七七	四二一	六九九	七八六
地代及公課	一四七	一八九	二七四	三三一
勞銀	二八一	三三八	六〇二	七四七
資本利子	五〇	六一	八七	八七
雜費	四〇	四九	七六	九五
計	八六九	一、二四二	一、八七四	二、一八〇

即ち燃料及勞銀は生産費の約三分の二を占むる状態なるを以て全然燃料を要せず且つ土人若くは苦力の廉價なる勞銀を以て足る殖民鹽と價格の點に於て競争し得ざるや自明の理にして之れ鹽で廉價主義の立場より内地鹽田整理論の唱道せらるゝ所以なり而して之れを生産能力の方面より見るに現在五千八百九十餘町歩の採鹹地反別を以てして平年作約十億一千四百萬斤の生産高なる事上述の如くなるが更に將來内地に於て擴張し得可き鹽田適地見込反別は約八百十町歩を存するに過ぎず而して此の内地開設可能の見込反別は約六百十町歩にして之が生産見込高年額約一億八百萬斤餘を算するに止まる而も内地鹽のみを以て需要總高を充せし自給自足の時代は既に遠き過去に屬し近來鹽に對する需要増加と共に輸移入鹽は漸次其の數量を増し大正七年凶作の際の如き内地鹽收納高六億七千五百一十一萬斤に對し輸移入鹽購買高は五億九千五百八十二萬斤に達し更に其の後を受けたる大正八年度の如きも内地鹽九億八千二百一十一萬斤に對し輸移入鹽は八億七千六百七十三萬斤の多きに上れり斯くの如く需給の關係より見るも内地鹽のみを以て自給自足の状態を維持する事能はず加ふるに價格の點より見るも到底殖民地鹽に對抗し得

ずとせば之が補填策として殖民地鹽に對し相當保護助成の方針を採るは當然の措置にして所謂海外鹽主義の論據亦茲に存するを見る次に各殖民地鹽田の状況を概説するに先づ臺灣鹽田は近年内地需要高の増加と共に漸次鹽田を擴張し大正五年度に於て一千六百一町歩、大正六年度に於て一千六百三十六町歩天正七年度に於て一千六百四十八町歩の採鹹地反別は大正八年度に至つて一躍一千八百八十五町歩に増大し最近尙ほ續々新設擴張せられつゝある状態にして毎年の生産高は天候殊に暴風襲來の如何に依りて増減甚しきものもあるも平年作一億九千六百萬斤内島内消費高六千七百萬斤差引内地への供給可能高約一億三千九百萬斤と稱せられつゝあり而して尙將來擴張し得可き鹽田適地見込反別は約一萬七千六百町歩を算し内開設可能見込反別四千八百九十町歩にして之が生産見込高は實に九億四萬斤の巨額を示し將來有望の生産地たるを失はず只同島鹽業の一大障害として毎夏暴風雨襲來し鹽堆を流失し鹽田堤防を破壊し殆んど廢田に歸せしむるの惧れ有り然れば鹽田堤防築造に當りては常に永久的施設として最も堅牢なる工事を施すの必要有り此の障害にして完全に防禦し得ば同島製鹽業の將來は極めて有利且つ有望たるは明かにして殊に其の天日製鹽たる點は生産費の節減に尠からざる影響を及ぼし内地鹽との對抗上著しく優越の地位にあり即ち鹽百斤當生産費内譯左の如く内地鹽の生産費に比し甚しく低廉なるを知る可し(單位厘)

費目	大正五年度	同六年度	同七年度	同八年度
鹽田修理費	一〇	一九	二〇	四六
器具機械費	一	一	一	二
鹽大賃	九四六	九四〇	一〇二	一四〇
鹽運搬費	二〇二	二〇	二〇	三一

資本利子	一八	三六	三七	七八
雜費	七	一三	一二	三四

合計	一四九	一七九	一九二	三三一
----	-----	-----	-----	-----

關東州鹽の概況を見るに鹽田面積は數年來殆んど増減無く四千四百四十四餘町歩の採鹹地反別を示し生産高は平年作二億二千八百萬斤内地消費高一千七百八十萬斤差引内地への供給可能高約二億八十萬斤と稱せらる而して將來擴張し得可き餘地は鹽田適地見込反別八千五百十町歩内開設可能見込反別四千二百十町歩之が生産見込高約二億五千二百萬斤にして臺灣と共に將來有望の鹽生産地たり製鹽法亦臺灣と同じく天日製鹽にして百斤當り生産費内譯左の如く内地鹽生産費に比し著しく低廉なるを見る(單位厘)

費目	大正五年度	同六年度	同七年度	同八年度
鹽田修理費	五九	六四	一四二	一五二
器具機械費	四一	四二	九四	一一二
鹽夫賃	七二、七	七九、五	一三六、六	一九一、三
鹽蓋費	五五	七三	九五	一二、四
資本利子	二〇、〇	二〇、〇	二〇、〇	二〇、〇
雜費	六、五	七三	一六、八	一七、四
合計	一二四、七	一二四、七	二五六、五	二六七、五

臺灣鹽田及關東州鹽田の概況略前述の如くなるが海外鹽田中最も多くの問題を今日に貽せるものは青島鹽田にして我守備軍管理以前の同地鹽業は専ら支那人に依つて經營せられ鹽田反別約二千町を有せしが青島占領の結果吾守備軍の管理下に歸するや同民政部は日支經濟提携の見地よりして極力内地人の鹽田投資を慫慂するの方針に出でし折柄大正七年に當つて内地鹽田稀有の凶作に遭遇し輸移入鹽に對する需要頓に激増するや青島鹽業を刺戟する事甚しく陸續鹽田の擴張に著手する者を生じ今日に

於て既設鹽田支那人經營二千四百八十八町歩、内地人經營千九百八十八町歩合計四千四百三十八町歩を有し尙ほ開設許可面積日支人合計三千三百十八町歩に達するの盛況を見るに至れり従つて大正六年度鹽田反別千九百五十九町歩を以てして一億七千九百萬斤を算せし生産高は本年度製造見込高四億五千五百萬斤の巨額に達するに至り尙將來に於て生産し得可き見込高を舉ぐれば約十億百萬斤に達す可しと言ふ以て同地鹽業の發達著しきものあるを知る可し斯くて大正六年度以來漸次其の數量を増加せる青島鹽内地購買高は大正八年度に至りて最高頂に達し三億五千萬斤の大輸入を見しが翌大正九年財界動搖の悲運に遭遇し前年度の買入過剰と相俟つて内地の需要頓に停頓し輸移入鹽の内地購買高は俄然として激減し青島鹽の如き九年度買渡高僅かに一億七千五百萬斤を得たるに止まれり茲に於てか需給關係は忽ち一變して甚しき供給超過の狀勢に轉じ之れが當然の結果として購買價格の引下斷行となり折角隆盛の域に向へる青島鹽業も茲に全く一頗挫を來すに至れり而して其の因をなせるもの素より一時の好況に眩惑せる同地鹽業者の浮薄なる企業熱に驅られて將來の需給關係に想到せず徒に鹽田擴張に没頭せし罪大なりと雖も之が局に當れる守備軍民政部の放漫なる獎勵策亦與つて責有りと言はざる可からず青島が東洋無比の好製鹽地と稱せらるゝは必ずしも同方面の宣傳のみと見るべからず又日支經濟提携の見地より同地に於ける鹽田投資を獎勵せる民政部の方針は其根本に於て誤りと言ふ可からざれども内地を以て唯一の消費先とする青島鹽田に對し將來に於ける内地鹽需給の大勢を洞察する事無く只目前内地鹽田大凶作の後を受けて俄に輸移入鹽の需要激増せる一時の好況に捉はれ殆んど無制限に鹽田開設許可の

方針を採りて當業者の企業熱を煽れる當局の態度に至つては如何に其責任を回避せんとするも斷じて能はざる所にして今春同地鹽田視察の爲に赴ける鹽需給特別委員の一齊に此點に就き論難せりと傳へらる而も民政部當局は最近同地鹽業者の窮狀漸く甚しからんとするや盛んに企業者の合同を慫慂し内地人鹽業者を糾合して資本一千萬圓内外の大會社を創設せしめんと計畫し更に近く鹽需給特別委員會の根本方針決定に先ち大々的に外鹽主義を宣傳して青島鹽田救済の爲に適宜の法案を講ぜられん事を懇請する所有るし可と傳へらる素より青島鹽田は絶好の鹽生産地たり將來に於て年々多量の供給を同地に仰がざる可からざる吾國としては其の隆盛を希ふ事勿論にして悲況挽回の運動亦咎む可きに非ざるも深く過去の失策に顧みるところなかるべからず尙ほ青島鹽田の詳細に就きては後段更に奥專賣局技師の踏査報告を掲げて詳述する所有る可きも同地鹽田が臺灣及び關東州の各鹽田と同じく天日製鹽たる事は一大特長と稱す可く鹽產費は從つて頗る低廉にして百斤當り内譯左の如し(單位厘)

費目	大正七年度	大正八年度
鹽田修理費	五〇	三四
器具機械費	四	一五
鹽夫賃	一一三	一四七
鹽蓋費	六	四五
資本利子	二〇	三七
雜費	二〇	三〇一
計	二二〇	五七九

價格比較以上述ぶる所に依り内地鹽田及海外主要鹽田の鹽產費の概況を明かにせるが尙之等各地鹽田百斤當り鹽購買又は賠償價格を比較對照すれば左の如し(單位厘)

△大正七年度

種別	生產費	船價格	門司迄の運費其他	賠償又は購買格
内地鹽	一、八七四	—	—	二、〇五三
臺灣鹽	一九二	六三三	一、〇〇〇	一、六三三
關東州鹽	二五六、五	五六二、二	一、〇四五	一、六一〇
青島鹽	一二三〇	五五三、三	九九〇	一、六七〇
△大正八年度				
内地鹽	二、一八〇	—	—	二、四四〇
臺灣鹽	三三三	五四七	六〇〇	一、三五〇
關東州鹽	二六七、五	一、〇三二	五六五	一、六一〇
青島鹽	二五〇、六	八〇九	五三六	一、六七〇

右表に依つて明かなる如く鹽產費に就きて見れば内地鹽と海外鹽との間には著しき差有り更に其の賠償價格及購買格價に就きて見る尙其間に百斤當り平均六十錢以上の差有るに至つては將來各海外鹽の品質漸次改善せられんか内地鹽の基礎甚しく薄弱となる可きは疑ひを容れざる所なり

上述の如く青島鹽田の現在及將來は鹽需給調節問題の解決に關し最も深き關係を有するを以て今春特別委員一行と共に同地鹽田視察に赴ける專賣局技師奥農學士の報告を左に掲ぐ可し

膠州灣鹽業概況(四月末踏査)

(一)膠州灣の位置地勢土質及び海面の狀況 膠州灣は一望千里の平野を有する支那山東省に位置せる廣大なる海灣にして灣内の周圍卅七釋一見外洋の如し陸上には山岳森林無く又河川の常に流水を湛ふるもの無く從て河水を以て海水を稀釋するものあるを見ず灣内の海上は極めて平穩にして波浪の動搖を見ずと雖

も一朝風威猛烈の時に於ては高浪大波起りて海面の波動劇甚なる事有れば鹽田堤防維持に就ては特に深甚の注意を拂はざる可からず灣内の土質は概して粘土に富める微細の植土質土壤にして殊に粘土は地下數尺の深さに達し天日鹽田として適當の性質を有せり但灣内廣大にして場所に依り多少の相違有るは勿論なり以上の如き狀況なるを以て膠州灣は天日製鹽田を築造し之に依り製鹽業を營むに頗る有利の所たり雖然鹽田の築造に對しては大に注意を拂ひ堤防の構造は高大堅牢を旨として以て永く風波に堪ふるを以て目的となさざる可からず

(二)氣候及海水の濃淡 膠州灣に於ける氣候は溫度低からず濕度高からず風力亦弱からずして割然晴雨の二季に區分せられ能く乾燥して降雨稀に降水量亦寡なる事海外諸國の天日製鹽地の天候に髣髴たるものあり天日製鹽の同地に行はるゝ亦宜からずとせず灣内の海水は比較的濃厚にして鹽分に富めり。

(三)鹽田の狀況 膠州灣に存在する鹽田は今を去る事十數年初めて改築せられしものにて其當時は全部支那人の築造に成り鹽田所在の地は何れも陸地に接觸せる沿岸一帯に止り從て海水淺く水面平靜なれば鹽田堤防も俾低にして且つ堅硬なるを要せず而も海水の動搖打衝に依りて堤防泥土の流失せらるゝ事無く永く之が維持に支障を生せず從て築造上の手数を要する事工費を要する事頗る寡少にして足れり然るに近時築造せらるゝ鹽田は支那人鹽田の外部たる水深深き所にあるを以て海水の打衝強大にして堤防を堅牢に築造し海水に流失せらるゝ事無きやう工事を施すに非ざれば永く鹽田を存置する能はず元來鹽田經營は一兩年の事に非ずして十數百年の事業なれば其の間多少の修繕補足を爲すは止むを得ずとするも年々多大の補修を加ふるが如き

は事業經營の目的に非ず當事者は此の點に就き特に深甚の注意を拂はざる可からずして近時新規に築造せられたる鹽田及目下築造せられつゝある鹽田を見るに其の前者は夫々既に製鹽事業を營みつゝあるも後者は頻りに外堤の築造若くは内部の施設を急ぎつゝある實況なり。

(四)鹽田使用苦力の狀況 天日鹽田は鹽の生産に關し主として天然に依るものにして人爲に俟つ所尠なりとは一般の認むる所なり從て勞力を要する事頗る僅少にて足れりと雖も而も廣大なる鹽田の作業に要する人夫の員數は相當多數に上れるものあり然るに膠州灣鹽田に於ては彼の有名な山東苦力を控ふる所なれば勞力豊富從て勞銀寡少にして足るは事業經營上至大の天惠と言ふべきなり。

(五)鹽生産の狀況 踏査當時に於て各所の鹽田を見るに支那人鹽田は何れも從來築造せられたるものにして毎年幾回となく製鹽作業を行ひつゝあり本年も既に製鹽季に入れるを以て夫々作業の準備を了へ製造に着手し鹽堆所々に散在するを目撃せるも内地人が新規開築したる鹽田に於ては僅かに其の點在せるを散見せしのみ蓋し内地人が築造せる鹽田は未だ年數を重ねず且つ度々の生産を爲さざりしに依り當時漸く作業準備に忙殺せられ居る狀態なりき。

(六)鹽田所在地の交通狀態並に鹽運搬の狀況 從來の既成鹽田並に近時築造中に係る鹽田の所在地附近に於ける陸上交通の狀態を見るに鹽田に介在して偶々支那人の村落をなせるものあるを見るも何れも寂寥の孤村にして汽車の便は遙かに數哩を隔りたる所に止み之より鹽田に至る間は泥濘地又は田圃にして殆んど道路を見出す能はざる所有り從て鹽の陸上運搬は現狀に於て

全然不可能と言ふ可く一方鹽田所在地附近の海上は大船を繫留し得る程度の水深を要せず従て各所鹽田に於て生産する鹽は鹽田各自に於て直に大船に搭載する事能はず現在に於て海上戎克船を用ひて青島棧橋に運送し更に之を大型の運送船に移載するか若くは一日棧橋附近に陸揚し更に之を運送船に搭載して内地又は朝鮮等夫々消費地に運送する順序なり右青島棧橋附近は海底頗る深く大船を繫泊するに適せると共に陸上にも鹽貯藏に適する土地の準備有りて陸上搬出上の利便は極めて大なるものあり。

(七)鹽の品質 鹽の品質は之に含める鹽分多くして石灰、苦土加里等の夾雜成分寡きものを優良とし之に反するものを劣等とす今膠州灣に生産する鹽を見るに從來の製品は鹽分相當量に含有せるも鹽の原質たる色澤粗惡なりしを以て消費者は兎角之が使用を嫌忌せり然るに青島官署に於て見る所有り大に之が改良に意を注ぎ夫々品質の改善に努力せる結果本年踏査の際目撃せる所に依れば著しく改良進歩の實蹟を見るを得たり。

(八)鹽田面積 最近青島守備軍の調査に係る鹽田反別左の如し

邦人經營 九九四付
既設鹽田 支人經營 一〇七四付
計 二〇六八付

(四一三六町)

邦人 着手 一、〇三四付
開設許可 未着手 五五四付
面 積 支人 着手 一、五八八付
未着手 七〇付
計 七〇付
一、六五九付 (三三三八町)

(九)鹽生産數量 青島守備軍調査に依る本年度鹽製造見込高は邦人一億二千九百五十二萬七千二百斤支那人三億千五百五十九萬六千八百斤合計四億五千五百十二萬四千斤にして尙ほ將來に於て生産し得可き鹽の見込高を舉ぐれば約十億百四十六萬四千餘斤に達すべしと

(十)鹽加工場 膠州灣内に於て製産する鹽は原鹽の儘之を海外に輸出するのみならず青島に於て之に加工し其形狀性質を變へ各種の鹽として輸出しへ、あり今其主要なる加工鹽產品を舉げんに一、再製鹽(平釜真空式再製鹽)二、粉碎鹽三、洗滌鹽四、粉碎洗滌鹽等之れなり各鹽業會社は競ふて廣大なる工場を築造し夫々加工事業に従事しつゝあり其狀況實に盛なり。

(十一)副産工場 鹽田に於て生産する苦汁は從來之を拋棄して利用する者無かりしが歐洲大戰開始後苦汁に含める藥品成分を分離する事を計畫せるより之が利用の途開け青島鹽業會社は卒先して廣大なる工場を建設し「ブローム」炭酸苦土、硫酸苦土等を生産せり然るに近時に至りては之等の藥品價格暴落したる結果多くは収支相償はざる悲境に陥り目下は只炭酸苦土のみを製造しつゝある状態なり。

(十二)膠州灣内鹽業の缺點及改良策 膠州灣の鹽田が支那人のみに依て經營せられたる時代に於ては反別約二千町歩を算するに過ぎざりしが一昨年來内地人に依り鹽田新設計畫せらるゝに至り今日に於ては既に其倍數即ち四千町歩に達するに至りたり實に急激なる發展と言はざる可からず然れども鹽業は一時的の事業として見る可きものに非ず十百年に亙る永久的事業たるや論を俟たず従て鹽田築造に關しては勿論鹽質の良否鹽生産費の多寡等に關しては大いに考慮を拂はざる可からず之を換言せば

鹽田の築造は堅固安全を旨とし鹽質優良にして之に要する生産費寡少にして足るを以て製鹽業第一の要件となすや自明の理なり然るに踏査の際目撃したる所に依れば比較的深海の位置に於て築造せられたる鹽田中往々にして外堤の築造堅牢を缺き其將來に對し疑懼の念を抱かしめたるものあり斯かる鹽田は其維持上甚大の注意を要す可し又鹽質に就きて見れば近時大に改善せられたるもの有り且雖も尙ほ色澤の著しく不良なるもの鹽分の寡少なるもの多々之れあるを見る之等は共に改良を要し同時に鹽産費の節約を見るの必要有りと認む又膠州灣内に於ては各種工業用として又外國輸出鹽、藏魚數製造用として好適なる鹽質を有する鹽の生産に努むる事適策なりと思慮せらる。

内地鹽田及臺灣關東州青島各鹽田の概況前述の如くなるが臨時財政經濟調查會鹽需給調節特別委員會審議の經過は從來殆んど準備調査又は實地踏査に費され未だ根本方針決定の討議に入らざるが故に議論の表面に現はれたるもの無しと雖も大體各委員の意見を綜合すれば大別して所謂外鹽助成論と内地鹽田保護論の二となすを得可し先づ外鹽助成論の論據とする所を見るに

外鹽助成論

鹽は米と齊しく國民の日常生活に一日も缺ぐ可からざる必需品なり從て最も之を廉價に供給するの方策を講ぜざる可からず然るに此の見地よりする時は價格の點に於て殆んど比較にならざる内地煎熬鹽と海外天日鹽と其の何れを擇ぶ可きや一目にして決し得可く國民全體の福利を想はゞ多少の犠牲を敢てするも内地鹽田に對しては漸次整理の方針を採り一方海外各天日鹽田に對しては適宜助成の方策を講じ之を以て將來内地

地に對する供給力の根幹たらしめ更に進んでは内地需要の總額を充當せしむるの方針を以て進むの得策なるや多く論ずるの要無き所なり尤も現狀に於ては永年内地鹽の使用に慣れたる消費者側に於て兎角天日製鹽の使用を嫌忌するの傾向あり事實に於て現在の天日製鹽が其色澤に於て形狀に於て内地鹽に及ばざる所有るは否む可からざるも而も之等の缺點は藉すに相當の年月を以てせば製鹽技術上の進歩に依り必ずしも改良の餘地無きものに非ず將來に於て米國式採鹽法を應用する事製鹽技術上の一大改革斷行せば内地鹽と遽に優劣を決す可からざるに至るや明にして更に之を鹽成分より見れば天日製鹽の鑑定成績必ずしも内地鹽に劣る所無く即ち左表に示すが如し

△鹽成分發表 (大正八年度)

種別	水分	夾雜物	鹽化曹達	鑑定成績
内地煎熬鹽				
一等	五〇七	二五五	九二三八	九一三六
二等	六八六	四九四	八八二〇	八六五三
三等	八四八	七〇二	八四五〇	八二二五
四等	九九八	九二九	八〇七三	七七八七
五等	一一三四	一二四九	七六一七	七二五四
平均	九八一	九五六	八〇六三	七七七四
各地天日鹽				
臺灣鹽上	一〇四三	六二八	八三二九	八〇九九
同並等	七六五	八六二	八三七三	八一二四
關東鹽上等	七七〇	一九三	八六三七	八〇四一
同並等	八四〇	六七〇	八四九〇	八二七二
同再製	六八三	二八二	九〇三五	八九一〇
同粉碎	四一〇	三二八	九一九二	九〇七一

青島鹽原鹽	八九六	八四七	八二五七	七九九八
同 再 製	四四三	三九〇	九一六七	九〇四五
同 粉 碎	五八五	四二八	八九八七	八八四三
同粉碎洗滌	六八〇	三七八	八九四二	八七九八
同粉碎白鹽	八三二	五二四	八六四四	八四五六

備考 鑑定成績とは表中水分に一來雜物に一、二を乗じたる和を一〇〇より減じたるものなり。

即ち關東州鹽並等は内地鹽三等より稍優れり臺灣鹽並等及青島鹽原鹽は内地鹽三等乃至四等の間に在り鹽化曹達含有量より見れば斯くの如く天日製鹽は内地鹽に比し何等の遜色有るを見ず從て現在に於ても曹達工業用原料としては天日鹽其大部分を占むるの狀況にして内地鹽に比し價格著しく低廉なるを一大武器として將來益々天日鹽の此方面に於ける需要は増大せらる可く更に製鹽技術の進歩に依り色澤形狀品質等漸次改良せらるゝに至らば一般消費者側の需要亦翕然として天日鹽に赴く可きは明にして而も之れ國民民福増進の大眼目よりせば誠に慶賀に堪わざる所たらずんば非ず然れば一方各地天日鹽出に對し相當助成の方策を講じて之が發展を期すると共に内地鹽使用に對する消費者側の因習的迷夢を打破して天日鹽使用の有利なる所以を闡明し他方内地鹽田に對しては漸次整理の方針を採り從來内地鹽を以て基幹とせる供給關係を一轉して天日鹽を以て之が中心を爲し更に各地天日鹽田の發展と共に其供給力の内地需要總額を充すに足るの見込充分なるに至つては内地鹽田の全部を廢止するも可なり素より鹽田整理の實行に就きては相當巨額の經費を要す可き事論を俟たずと雖も國民の福利増進の爲には又止むを得ざる所にして且つ之を實行するに當りても一舉に内地鹽田全部の整理を完了せ

んとするに非ず各地天日鹽田の發展と共に漸次之を行はんとするものなるが故に必ずしも實行難を懸念するの要無かるべく要之國民日常生活の必需品たる鹽を廉價に供給せんが爲には天日鹽田の發達を助成する可き何等か適宜の方策を講ず可きは當然の措置にして之が必然の結果として内地鹽田整理の必要を生ずるも亦誠に止むを得ざる所なり云々。

以上は即ち外鹽助成論の主要にして之に對し内地鹽田の存續を主張するものに所謂内地鹽田保護論あり

内 鹽 保 護 論

廉價主義の趣旨とする所結局は國民民福の増進を以て目的と爲すものなるが故に其の根本に於て反對の要無きが如きも而も論者言ふが如く内地鹽田を整理して漸次其の鹽產高を制限し天日鹽田の發展と共に之を以て本邦鹽供給の根幹たらしめんとする外鹽助成論の主張は理論として兎に角之が實行に際して果してよく萬全を期し得可きや否や疑無きを得ざるなり海外各天日鹽田の發展策に就き適宜助成の方策を講ずる素より不可なるに非ず只天日鹽田のみを以て内地總需要高を充當するに充分なりとの見込立たば宜しく内地鹽田を整理して廉價主義の實現を圖る可しと言ふに至つては妄斷も亦甚しと爲さざる可からず由來天日鹽の特長とする所は生産費の至廉なる點にあり同時に其の鹽產額の均一する處なく年により豐凶の差甚しきは又天日鹽田の一大缺陷たり即ち之を臺灣鹽田に見るも關東州鹽に見るも將又青島鹽田に就きて見るも凡て天日鹽田に於ては天候の影響殊に暴風雨の爲に蒙むる損害實に甚大なるものあり一度高浪大波の襲來を受けんか鹽堆は流失

し堤防は決潰し爲に殆ど鹽田をして廢滅に歸せしむるの悞有り之れ天日鹽田の作高年々一定する處なき所以にして殆んど避く可からざる一大缺陷たり然るに此事實に深く省察する所なく單に生産費低廉なりとの理由の下に内地鹽田を整理し天日鹽のみを以て内地需要總額の充當を企圖せんとするが如きは殆んど供給の確實を顧慮せざる暴論にして此の理よりするも内地鹽田維持の必要誠に明白なるもの有り殊に吾國は四海を以て環せる島國なり内地鹽田を全廢せる曉一朝有事の際各殖民地との交通遮斷せらるゝが如き非運に遭遇せんか國內に於て一粒の鹽をも得る能はざる結果は幾許も無く之が供給難に陥る可き事火を見るよりも明かなり奢侈品又は享樂品に對する供給策としては知らず苟くも國民日常生活の必需品たる鹽供給の根本方針として斯くの如く不安定不確なる方策の採る可からざるや勿論にして特に不經濟なる内地鹽田の一部を整理するが如きは未だしも之が全廢を以て窮極の目的とする整理論の如きは徒らに廉價主義の美名に眩惑して砂上樓閣の愚を顧ざるものと言はざる可からず要之鹽需給調節の根本方針としては價格の低廉と供給の確實とを以て二大眼目と爲すものなるが故に廉價主義素より難す可きに非ざるも只供給の確實性を缺ける廉價主義は其名徒らに美にして而も實行の難きを悞るゝのみ内地鹽田維持の必要は茲に於て愈々其の避け難きを知らざる可からず。

以上は即ち單に特別委員會内に於ける議論の二大系統に就き叙説せるに過ぎざるも此他尙は種々の中間論あり最後の決定を見る迄には尙幾多の經過を経ざる可からざるは勿論なり。

貿易

青島貿易概況 (五月)

本月中の埠頭陸揚貨物(輸入)は四萬三千四十二噸九船積(輸出)七萬四千二百三十五噸九を算し前月に比すれば著しく増加を現はせるも輸出は昨年同期に比すれば約四千噸の減退を示せり之が主因は淄川炭の上海並に入幡送り皆無の結果にして其他の各貨は何れも相當の活況を示せるを見る

陸揚貨物 船積貨物 計	四月中		五月中		昨年五月中 との比較
	三〇、九五五	四〇、四四九	三七、四二八	〇、二九〇	
	六、三三三	七、四三九	六、三三五	〇、四〇六	
	一〇、三二七	一、四七六	一、五、九四三	△、二、五五	

而して其仕向地に就て見るに大阪は相變らず鶏卵、桐材の好況と石炭、鹽等の仕向により七千三百七十九噸八を積出し神戸は花生實、鶏卵、鹽、豆粕の活況を迎へて七千四十二噸七の輸出を見横濱も又鶏卵、鹽、石炭、コークスの積出により七千百十噸六を示せるが其他日本向としては政府納鹽の積出し漸く旺盛となり本月中新潟、若松、下松、伏木へ向け合計一萬五百八十一噸四宇品へ鶏卵千九百九十五噸六徳山へ淄川炭二千四百噸函館へ礦石三千八百五十噸八幡へ鐵礦三千二百噸の仕向けを見たるが輸入貨は綿絲布、燐寸、洋雜貨、機械、鐵、燐寸材料、藥品等により神戸、大阪を併せて漸く一萬五百四十五噸七を算せるに過ぎず其他の各港は頗る不振の狀態に在りしが上海輸入貨は卷煙草千四百噸六石油千四百三十九噸綿絲千九十一噸綿布五百三十四噸棉花四百四十五噸支那紙千三百三噸機械五百三十七噸

等の重要貨物あり外に竹材千六百九十五噸ありて合計一萬八百六十七噸五を示し輸出も亦花生實二千六百六十六噸葉煙草千三百八十二噸博山炭三千八十噸其他の石炭を併せて二千三百八十二噸を算し頗る活況を示せり

	本年五月		前年五月	
	船積	揚揚	船積	陸揚
大 阪	七三九八	六八〇四三	一四四一五	二九九七
神 戸	七〇四二七	三七四一五	七五二八六	二二〇一九
門 司	二六三三九	二二三四〇	八八〇九	二四九四四
横 濱	七二〇六	九七三	一四八七六	五七八五
德 山	二四〇〇	二〇四三	一〇五五〇	一五七〇
若 松	三二〇〇	—	三三五四〇	一三〇〇
八 幡	三二〇〇	—	二五九八六	一三五〇
其 他 日 本	二二六三七	二六六九八	八三四三一	四〇九〇〇
仁 川	五五三二	七二二	三三六〇	五三八七
釜 山	一三三〇	—	—	—
其 他 朝 鮮	—	三三七二	—	—
基 隆	四二〇	—	—	—
打 狗	五〇〇	一九三九	—	—
大 連	二八三二四	八六二七	二一四三八	一七四三二
上 海	九五四八二	一〇六七五	八八二二七	九九六四
芝 罘	一三三〇	三二七	三八八〇	五八七
天 津	三三三	二〇一	三三三七	一〇九二九
其 他 支 那 港	六七四七	七〇一一	五五〇二二	一八〇五
香 港	二〇三三四	一五三六	一九七四	一六七五八
浦 鹽	一〇二八	一四七	一八二八	一〇七五
マ ニ ラ	三九四六八	—	二〇三三	九五
其 他 外 國	三九四七四	七八二	五〇〇〇	三七三二
計	七五三三九	五〇三三九	七八二八五	三七四二八

主要輸出入貨物情勢 (五月)

本月の輸出入貨物は農繁期に入れる爲め前月に比すれば一體に不振の状態を示し數年振りにて漸く好化の曙光を認めし綿絲布界も需要減退し燐寸は爲替の小戻しにより十萬三千餘哥の輸入を見たるも砂糖は市況軟調、先行懸念の爲支商一般買控へ赤糖七千三十九擔精製糖三千九百餘擔の輸入を呼びたるに過ぎず卷煙草は上海製品は稍好況を齎らせしも日本品は依然として振はず其他の外國品六百六十六萬餘本の入荷を見たり米は上海米の上米薄と產地移出困難の爲め萎縮せるに引替へ其反動として鮮米は稍好況を呈し石油は需要減退期を控へて輸入の減退を來せり蠟燭輸出方面を見るに愈日本内地農繁施肥期に入りて豆粕一萬八千餘擔獸骨九千六百七十擔と稍好況を呈し牛肉も亦迎暖期に入りて毫も需要の減退を見ず鶏卵の六千九百萬箇と共に益盛況を示せり山東炭は上海仕向の活況を連へて尠なからざる博、溜炭の輸出を見しが需要開散期に向へると上海市場滯貨夥多の爲僅かに減退を現はせり本年落花生實の海外仕向は最近に至り歐米市況の好化と共に漸く活氣を呈し來りしも高値には歐米市場買控の姿にして本月は十四萬八千擔の輸出を爲せしが花生油は割合に需要薄にて漸く二萬五千餘擔の輸出を見しに止まれり鹽は既に第一期製鹽期を過ぎ第二期に入りたるも浦港香港朝鮮方面への輸出不振の爲市況頗る閑散を呈せり

△輸入品

品 名	單位	四月中	五月中	昨年五月中	この比較
生 金 巾 疋		九九六	一一六九	三五〇	八一九九
シーチング米品 同		一八〇	七〇	一八〇	五〇
同 英品 同		二五〇	一三〇	二八	一三三

[illegible][illegible]

民船貿易概況
(五月)

本月の民船移入貨物は前月に比し著しく好況を呈し、小麥高粱玉蜀黍等の食料品は奥地需要益旺なりし爲め合計十七萬餘擔を陸揚し豆粕も葉煙草施肥期の關係上二萬六千五百四擔の移入を示せり花生仁は漸く歐米市況の好化を迎へて前月來活氣を呈し港内外を併せて四萬六千餘擔の移入を見、鮮蛋は日本向貨の盛況に伴隨して各方面よりの出廻益旺盛を告げたるも濟南物は時候の關係上腐敗卵多く出廻り半減せるに引替へ沿岸方面より民船により移入せらるゝものは概して新鮮卵多く爲に輸出筋の買競ひあり本月中四百九十一萬餘箇の陸揚を示せり移出貨物は

石灰、石炭、核桃、花生油、豆油等相當數量を移出せるも概して不振の狀態にあり灣内各鹽田より埠頭出廻り鹽は春鹽作柄の不良市況不振並に埠頭保管料關係にて僅かに二萬四千餘擔の出荷を見たるに過ぎず

△移入高

品目	五月中	昨年五月中	品目	五月中	昨年五月中
竹稈	七〇	一、三〇	鹽乾魚	二〇、四六	二、三七
豆粕	六、九四	五、三六	麥粉	三、〇八	三、三
白黃豆	一、〇八	一、五	花生仁	三、七	二、六
牛骨	二、六	一、九	生牛皮	一、五	四、〇
高粱	四、八二	一、四九	各種席	一、五九	七、三五
玉蜀黍	九、九	三、七	花生油	六、四七	二、五
小麥	五、六六	三、三	次等紙	六、九	二、八
鮮蛋	一〇、九六	一、六八	三等紙	四、八	二、八
經蛋	四、〇〇	五、〇	莞豆	三、六	六、六
石炭	一、〇二	七、〇	藥材	二、七六	三、四〇
公麻	四、九	一、三	豆油	六、八	三、三
鍋同	八、七	一	花生油	五、八	二、八
石炭	二、〇二	一、九	陶器	二、三	三、四
△港内運輸					
石炭	一、六	一、四	各種席	四、九〇	一、〇〇
鮮蛋	三、八、一、〇〇	一、九、三、〇〇	花生油	五、七	一、〇、六五
落花生	三、〇	一、三	食鹽	二、四、〇七	三、七〇
落花生仁	九、五〇	一、〇	蘿蔔	一、〇、一	一、四、三
鮮菜	五、八	一、三			

海運及鐵道

青島港出入船舶 (五月)

本月中の入港船舶(汽船)は九十五隻此登簿噸數十萬九千八百八十噸出港百一隻十一萬四千五百三十二噸にして卸荷四萬三百四十二噸九積荷七萬四千二百三十五噸九を算せり之を前月に比するに入港六隻八百七十一噸出港十五隻一萬一千四十一噸の増加を示せるが昨年に比すれば入港八隻四千三百餘噸の減退なるも出港は却て三隻八千一百一噸の増加を現はせり

出港汽船				入港汽船			
四月	五月	昨年五月	比	四月	五月	昨年五月	比
八隻	一〇隻	九隻	〇	八隻	一〇隻	九隻	〇
登簿噸數	一〇、三、四九噸	一〇、三、三三噸	一六噸	登簿噸數	一〇、八、三三噸	一〇、八、三三噸	〇噸

次に入港船舶の仕出地を見るに日本十九隻仁川三隻基隆一隻大連十七隻上海二十九隻芝罘一隻天津二隻海州七隻其他支那港十隻香港五隻浦鹽一隻にして出港船舶の仕向地は日本二十五隻仁川三隻大連二十一隻上海二十一隻芝罘三隻天津五隻海州七隻其他支那港七隻香港二隻マニラ二隻其他一隻なりとす

内地近海備船運賃近況

近海は幾分夏植氣分を豫想せられつゝあるが山下の横濱阪神線及び朝鮮航路並に青島、上海航路等に割込みを見たる爲め多少船腹の需要を喚起し勘察加、浦鹽方面も稍活氣を帶び來り北海

木材亦出廻り期に入り引續き運賃成約を見つゝあるも大勢軟調と見るの外なかるべし最近成約を舉ぐれば左の如し

千壽丸	石炭	三〇〇噸	今宿若一濱	一九〇	西谷
東丸	同	三〇〇噸	若一上海	二二〇	已組
繪島丸	同	一〇〇噸	唐一濱	二〇〇	西谷
東慶丸	丸太	七〇〇石	インペラー兵阪	元五〇〇	町田
神憂丸	豆粕	十方擔	大連一濱	二五〇〇〇	三港
			神戶、伊勢、清水	三〇〇〇〇	

備船氣配は世界航路三圓普通遠洋及北米一往復共二圓半と保合近海は一、二區共二圓九十錢と十錢方引返したるが對外備船の昌福丸は近海二區三圓三十五錢の記録を出せり

南支就航船激增

昨年十一月より遞信省の定期命令航路に編入されたる日清汽船南支航路は本年一月より浦賀船渠新造船盧山、嵩山の二隻の外臨時船巴陵丸の三隻にて上海、香港、廣東間に就航し往復航とも相當積荷あるに拘らず、英國船バターヒールド、ジャデンマデソン二社の外更に支那人經營のチャイナマーチャントが合計十五六隻を配船し日清汽船と非常なる競争を試み居り運賃の如きも一時二十三圓内外を稱へ居たるもの昨今十二圓三十錢に値下したるを以て日清も之に對抗上同一率となしたる結果一航海八千圓程度の損失を招き一ヶ月十五萬圓の補助にては繼續甚だ覺束なき模様なるが英國にては更に近く同方面に増船の計畫あり戦前に於ける航路上の勢力を挽回する意嚮なりと

本邦汽船配船狀況

遞信省管船局調査に係る本年五月末現在に於ける總噸數千噸以上の本邦汽船の配船狀況は七百九十二隻二百六十九萬九千四百

六十四噸にして内譯左の如し

航路	噸數	隻數
沿海	二一八	四五〇、八三六
浦潮方面	一九	五三、九七一
朝鮮方面	二〇	三三、六三九
北支那方面	八二	二〇三、八六二
中支那方面	三〇	七七、五五六
臺灣方面	二一	六二、二一三
南支那方面	三四	九一、四五八
楊子江流域	一二	三〇、三四五
太平洋方面	六	一六、二〇一
瓜哇方面	二五	一〇二、九六七
海峽方面	一八	四、八一九
印度方面	四五	一九三、〇八二
濠洲方面	一一	四九、五七一
南亞方面	二	二、三〇七
歐洲方面	五八	三四六、六四一
北米東岸	三五	二一、八八九
中米方面	四	二〇、七四一
南米東岸	一七	九七、二〇九
南米西岸	八	五二、一〇四
北米西岸	三〇	二四五、六四九
外人備船	二六	八六、九二七
繫船	五一	一五三、一二九
修繕	一九	五七、七六三
坐礁	一	一、二一八

等にして之れを前月即ち四月中に於ける配船狀況に比較するに最も著るしき配船の増加を示せるは北支那方面に於ける十五隻五萬二千三百噸にして這是最近上海大連等に於ける出貨就中豆類の輸出旺盛を極めたる爲めにして次いで浦鹽方面の二隻二萬

八千三百噸の増加を見たるは東清鐵道を經由する雜穀類の出貨激増を成せる爲めである次ぎに配船の激減を來せるは海峽方面の十三隻、三萬八千三百八噸である這是各國争うて此の方面に航海權を扶殖せんとして極力集注しつゝある結果本邦船の自然減少を見るに至れる爲である

三驛發着主要貨物情勢 (六月)

本月中青島三驛發着貨物を見るに發送二萬五百五十五噸三到著二萬六千六百九十三噸四を算し前月に比すれば發送四千九百六十六噸八到著五千九百九十九噸六の減退を現はし幾分夏枯期の衰徴を示すに至りたるも昨月同期に比すれば發送貨一萬一千三百二十六噸四到著一萬一千五百三十八噸の激増を現はし著しく各貨の上に活況を見るに至れり殊に饑饉地方行穀類の積出多かりしが黃臺橋附近支那工場行機械千三百餘噸を積出せるは本年特異の現象にして到著貨は石炭、花生實、鷄卵、牛等の好況を齎らせるは何れも増加の原因を爲せり今之れを各貨の上に就て小言すれば本年春作の良好なるに活氣付ける奥地は一般購買力の増進を致し結果は直ちに發送貨物の上に顯はれ砂糖、卷煙草、雜貨、燐寸等の好況を見たるのみならず綿絲布の需要も俄かに激増し豆粕は葉煙草施肥として前月來の活況を持續し何れも別表の如き發送を見燐寸材料は濟南振業製品の賣行旺盛に伴れ次第に需要を増加せるに似たり次に到著貨物に就て見るに石炭は各坑出炭の順調と輸出の盛況を迎へて本月中有貨一萬餘噸無貨數千噸の到著を示しコークも引合商談を入れて市況好化し花生實は歐洲方面の買進遅かりし爲め端境期に入れる今日別表の到著を見たるは聊か變體とする所にして月を越わなば需要は自

然油に轉稼せらるゝに至らん鷄卵及牛は日本輸出益旺盛となれる關係上相當著貨を示せるが夏期に於ては輸送關係上激減を見るを普通とせり

△發送貨物

品名	五月中		六月中		昨年中		比較○増
	發送貨物	到著貨物	發送貨物	到著貨物	發送貨物	到著貨物	
生牛	三、五三二	三、一三〇	二、〇五五	二、六一九	九、三八九	一、三六四	本年比較
セメント	三〇五・八	九〇三・〇	五〇六・七	二〇〇・九	二〇〇・九	二九四・一	三・八
鐵板鐵製品	二〇三・三	三三二・〇	二二五・八	〇一、二五・三	一七二・七	八三九・五	三、〇二六・一
大豆類(大豆ナ除ク)	二八七・六	一、五〇九・三	六六九・八	五〇・二	三二五・七	〇三、〇二六・一	六〇八・四
高粱	三九一・六	三三二・〇	二二五・八	〇一、二五・三	一七二・七	八三九・五	三、〇二六・一
小麥	三三二・〇	二二五・八	〇一、二五・三	一七二・七	八三九・五	三、〇二六・一	六〇八・四
穀類(雜)	八六一・五	四三五・〇	一九二・五	〇二四二・五	二八六・四	四〇八・九	三三一・一
綿花	一、一五四・七	八五二・六	九二二・〇	二七九・八	二五九・一	二五九・一	二五九・一
綿絲	一、〇五・九	三九八・六	二二二・九	一一五・五	〇一〇七・四	五・九	五・九
食料	一、一五七・二	九六九・三	三三一・六	六二七・二	一一三・五	五・九	五・九
煙草	三三一・六	六二七・二	一一三・五	五・九	五・九	五・九	五・九
雜貨	三三一・六	六二七・二	一一三・五	五・九	五・九	五・九	五・九
燐寸材料	六二七・二	一一三・五	五・九	五・九	五・九	五・九	五・九

△到著貨物

麻袋布袋	二六九・一	一四〇・〇	〇	一二九・一
機械	一、三八九・四	一〇一、三八九・四		
石炭	一〇、一八四・〇	五七〇・二九	〇	四、四八一・一
コークス	二、三六〇・八	五四〇・七	〇	一、八二〇・一
石灰	七六八・〇	一、一二九・〇	〇	三六一・〇
セメント	二二五・五	五〇六・七	〇	二八一・二
桐材	一、一八八・八	八〇六・九	〇	三八一・九
米	三一〇・二	一九二・八	〇	一一七・四
花生實	四、一五五・三	五四一・〇	〇	三、六一四・三
陶磁器土器	三一六・〇	一五六・六	〇	一五九・四
綿絲	三二五・八	二三一・八	〇	九四・〇
繭(屑繭)	二六八・三	九〇・八	〇	一七七・五
花生油	一、九七一・六	一、七九〇・四	〇	一八一・二
豆油	九六・九	四二二・八	〇	三二五・九
油粕	三六一・八	六七四・〇	〇	二九四・四
麥稈真田	九六・六	二五・九	〇	七〇・七
鷄卵	一、三七六・五	三三六・二	〇	一、〇四〇・三
葉煙草	一一二・二	一〇四・六	〇	七・六
獸骨	二二三・五	八八・六	〇	一四四・九
牛	三、五六六頭	二、三七五頭	〇	一、二八一頭

埠頭倉庫營業概況 (五月)

本月中埠頭倉庫寄託貨物を見るに剝實二百六十二噸六燐寸五十噸五を示し其他寥寥數ふるに足らず頗る閑散の狀態に在るが
出庫は剝實二百七十五噸九石炭二百二十噸七燐寸百十五噸六を
主なるものとして其他合計七百二十三噸九價格七萬九千四百四
十二銀圓を算し月末在庫千三百九十七噸九價格二十五萬二千貳
百五元四十錢となれり今其異動を示せば左の如し (單位噸)

品名	繰越	受荷	出庫	日末支庫
花生實	三六・五	二六・六	二七・九	二四・三
葉煙草	二八・三	—	—	二八・三
牛皮	二〇・八	—	—	二〇・八
機械油	二・四	—	—	二・四
染料塗料	—	四〇	—	四〇
綿絲	六・二	—	—	六・二
綿布	三・〇	—	—	三・〇
麻袋	三・六	—	—	三・六
石炭	三三・七	—	—	三三・七
煉瓦及瓦	二・四	—	—	二・四
鐵	一七・六	—	—	一七・六
全屬製品	四六・五	一五・三	一八・四	四三・四
機械類	三〇・一	〇・三	七・八	三六
燐寸	四四・二	五・五	二五・六	四四・〇
屋根紙	三・五	—	〇・七	三・八
食料品	八・五	—	六・三	二・二
其他	三・三	九・五	五・九	三・八
計	二六九・〇	四三八	七三九	一、二九七・九

焚料積取増加

青島は最近バンカーポットとして其價值を認識せられ焚料積取船の回航を繁からしむるに至れるは大なる成功にして過般落花生並同油積取りの爲め日本郵船鎌倉丸及ブリユーファンネルのユリーエード號等踵を接して入港し其際三井洋行は前者に七百噸後者に五百噸の焚料供給を爲し亦最近日本郵船リマ丸の廻航に際し淄川二號洗小塊八百四十噸又英船リカオン號に對し千五百噸の積込を見たる等積取船の廻航増加に伴ひ焚料界は益活況を呈し當港焚料商内は山東炭消化上漸く重要視せらるゝに至れ

りされば山鐵當局に於ても此際益々當港としてバンカーポートとしての聲價を發揚せしむべく先づ從來供給不足勝なりし洗小塊類の貯炭を豊富にして埠頭積込設備に改善を施して常に四五千噸の貯炭を擁すると共に一日裕に六百噸の積込能力を具備せしめたるが之を大連埠頭の積込能力千五百噸に比すれば其半數にも達せずして頗る貧弱の觀あるも現在の狀況に於ては之を以て毫も不便を感じざるが如し從來淄川洗小塊類は専ら山鐵汽車焚料炭としての供給に追はれ市中に其姿を現はすの餘裕無かりしが山鐵は坊子に練炭所を起して汽車用炭の供給を専ら練炭に仰ぐの方法を採りたるより漸次洗小塊類並に塊炭の供給潤澤を加へ來り現在に於ては汽船焚料以外多少なりとも海外輸出餘力を見出し得るに至りたるを以て過般三井、鈴木其の他に對して淄川洗一號二號並に塊炭の海外輸出を懲憑するに至れり然れど洗小塊類は原則として焚料供給に充當し尙餘力ある場合に限り之を海外に輸出し得るの狀況に在るを以て之が爲め焚料界は毫も脅威を感じる等の事無かるべく將來對歐貿易の進展に伴れ益々盛況を呈するに至らん六月中淄川出炭狀況を見るに益順調にして四萬九千八百三十八噸を算し之を五月中の出炭四萬二千九百噸と比すれば約一割の増加を示し殊に塊炭の如きは現在月額二百餘噸の餘力を有するに見るも炭線順調にしてバンカー供給力の充實を示せるを知るべし

商

況

(六月)

◎綿糸布

△綿絲 月初めは市況不振閑散なりしが端午節後は流石に地場

筋の必要買を齎すありて市況稍色めき立ち殊に月末に到り三品市場の愈々底固き振合を眺めて問屋筋の見込買も加はり相當活潑なる商況を辿りて越月せり

銀月(十六手) 五日 十五日 廿五日
 一四七兩 一五〇兩 一四九兩五
 扇面(十六手) 一五一、五 一五五 一五三
 福島(二十手) 一六三 一七三 一七三
 △綿布 依然市況不振端午節後の賣行も一般の期待を全然裏切り本月を通じて商館筋の賣上僅かに三百俵未滿なりしを以て見るも如何に布況の不振なりしかを推知し得べし

◎砂

糖

端午節明けの商内を引當に上旬は多少の買氣を見せて鹽水港、香港糖共相當成約を示せしが從來下落に下落を重ね來れる砂糖界が珍らしくも此成約を見幾分にては相場引締りを見せたるは不可思議とする所なるも手持筋の安値賣惜しみ等亦其因を爲せしものゝ如し幾莫も無く爪哇原糖の安値入報に驚かされて氣配頓に悪化し市場は上中旬の出來高にて殆んど滿腹の姿となり毫も買氣を見せず相場は再び漸落の步調を續けたる處へ下旬に入りてより約定物約六千俵の著荷ありたる爲め市中在荷意外の多數に上り相場は先走りの現象にて崩落を演じ手持筋は何れも多大の損害を蒙むらざるは無く市場恐慌先行不安に陥れりされど内地製糖筋は上半月の持直り市況より見て賣惜しみの態度を

採り居れるが當地も之等より押して考ふれば多少の持直しを期待さるべき筈なるも原糖安より見るときは當分下落歩調は止まらざるべく相場は上旬鹽水港E K庫渡十五元より下旬十三元と暴落先行益々弱見込にて月を終れり

◎ 燐 寸

地製品は依然供給夥多の爲各社共何とかして滯貨の増加を防がんとものど頗る賣拔策に苦心を重ねつゝある模様なるも需要筋は原料安値氣構等の爲一般見送り勝にして當座小口買の外目立ちたる商内行はれず三星安平入庫渡四十元五十錢と安保合面白味無き市況を經過せり市況既に前述の如くなれば輸入雜牌の小口入荷を呼びつゝあるも需要薄にて先行何等の展開見込立たず庫渡二十七兩五匁見當を保合ひつゝ夏枯閑散期に入れりされば地製並に輸入物共秋の需要期を待たざれば或は市場の好化を望まれざるべしと觀測せらる

◎ 白 米

鮮米の軟化に従ひ支那米も本月に入りてより幾分小緩みの狀態に推移せしが産地在荷薄と移出困難の爲月中旬に入りてより市中再び上米拂底を告げ市況強調を現はせし折柄漢口市場の暴騰入報に更に強氣を煽り此上上海市場の硬化を見るに於ては市中上米在荷皆無となり前年の如き激騰市況を實現すべきを豫想し華商筋は俄かに賣惜しみの態度に轉じ市況著しく強調に傾き相場はデリ高の歩調を辿り月末上米一袋銀十七元と上押を見たり鮮米は一時強調を傳へしも内地相場に附隨して再び軟化し研き一等米沖値三十圓無砂米二十七圓五十錢見當を唱へ旺盛なる賣行を示せり

◎ 花 生 仁

一時好化を見せし歐米市場の買氣も茲一段落の姿となり同方面への輸出賃は僅かに約定物の積出しを見つゝある有様なれば當市場も割合に活氣無く積取船の回航間際にはさすがに何等かの材料により跳上がらんと待構へたる市場をして思惑筋の仕手關係により沸騰相場を豫想せしめたる事無きに非ざるも既に端境期に入れる爲め出廻り著しく減少相場は漸く強調に傾きたる處へ新たに日本市場より製菓原料其他として三十二粒乃至四十粒程度の粒物に對し相當高値注文入り込みたる爲め相場は一層の強調を加へ七月物七元七十錢現物七元五十錢の高値を出したる爲め歐洲方面への積出し殆んど不可能の狀態となり約定筋買控月末定期七元五十錢と下押せるも尙出合頃迄には相當の値開きあり流石の廣東幫も高値には買控安値待の姿にて本月を終れり

◎ 花 生 油

時期の關係上剝實の輸出は漸次不可能の狀態となりたるに引替へ剝實の買氣は一轉して油に集まり歐洲方面よりも漸く油に向つて買氣を見せ來れる矢先下旬に入りてより某大手筋に於ては七月始頃大口船積を爲さんとしつゝある噂に刺戟せられて遽かに相場上乘し二十六日休日の内氣配は非常の強氣を含み居りしが果然二十七日の前場は未曾有の爆發相場を示し八月積十六元二十錢と空前の高値にて千五百噸の手合あり取引所創立以來の出來高を示せしが二十八日の前場は之が整理に禍せられて遂に休場の止むなきに至れり二十八日後場は十五元二十錢と幾分落付を見たるも尙歐洲相場とは二三元見當の値開きを示せる一

方爲替は強氣一方に傾き居れば爲替不利と高値とに祟られて商況伸悩みの姿を示せり本品の如き大宗貨物が僅かの仕手關係により如斯相場の激動を見るに至りたるは頗る憂慮に堪わざる次第なるべし

◎鶏 卵

鶏卵の本邦輸出は阪神滯貨夥多と梅雨期に入りたる爲め問屋筋買控への氣味にて輸出の不味を誘ひしが阪地同業者は更に市中投賣物調節の爲本月中買制限の打合を爲したるが如く一時注文全く杜絶の状態なりしを以て當地輸出業者も俄に警戒買控たる爲市中滯貨激增相場も二十日高密玉十三元五十錢昌樂十五元濟南物十元五十錢と暴落を告げしが滯貨は益々増加し來りたる一方華商筋の投賣物も現はれ相場は更に一元見當の安値を示せし爲め此趨勢に驚かされて濟南小玉物の出廻著しく減少漸く需給の調節を得月末幾分の小戻を見高密、即墨約十二元五十錢昌樂物十四元濟南物十元見當を保合へるが月を越わなば阪神地方の買氣により尙一段の反撥を見るに至るべしと觀測せらる

◎桐 材

一般夏枯時期なるにも拘らず桐材は毎船相當の積出しありて毫も衰退の跡を示さざれども阪地は相當の滯貨を控へて頗る面白からざる商況を辿り居れるが如く相場は著しく軟調を示し辛ふじて當地と出合姿を保てり然るに最近内地問屋筋より當地に出張員を派し直接買出しに従事せしむるもの増加し之等は大阪相場を標準とし相當高値に買進むものから自然相場を吊上げ華商側も之等高値を漁りつゝ容易に安値手離さざるを以て市況伸悩

み輸出業者は相當苦心の體なるが出張員中には更に進んで奥地買出しに注目しつゝものありと聞けり當地月末相場左の如し

△九太材、△下駄臺

河南物堅口	才銀二十三錢	並、直、甲良込	一足銀十八錢
同 軟口	同 十六錢	天 目	同 三十七錢
山東物	同 十七錢		

◎石 炭

淄川小塊類の出炭並に著炭は依然潤澤にして常に當地貯炭數千噸を擁し専ら焚料積取船の誘致に努め最近鎌倉丸、ユーリエード號リマ丸等の回航を見るに至りたるは當港がバンカーボートとして漸く一般に認識せられたるを證するものにして焚料商内は山東炭消化上最も重要視せらるゝに至れり山鐵に於ても此際益其聲價を發揚せしむべく淄川洗小塊の供給を潤澤ならしむると共に埠頭設備を改善し積込能力の増進に努めつゝあれば今後當地對歐貿易の進捗に伴れ益大型船の焚料積取を増加すべく期待せられつゝあり博山炭は内地炭況不味にして茲炭界のドン底と目され依然投賣物の續出に禍され内地方面引合渉々しからざりしと共に同炭の大仕向地たる上海市場に於ても亦日本炭の爲に壓迫せられて本月中支那人扱として二三千噸の積出しを見たるに過ぎず極めて不況の商狀を経過せりされど山鐵は運賃增收策により沿線市場を博山炭に譲り淄川炭の賣出しを差控たるを以て博山炭は茲に消化の餘地を得て同炭の沿線積出しは比較的好調を呈し本月中約四萬餘噸の積出しを見たり同炭の毎月出炭量は三月中四萬九千二百噸四月中五萬七千九百噸を算し輸出炭として三月中六千六百噸四月中七千七百噸を控除せる外は大部

分沿線市場に於て消化せられたるものと見るを得べし坊子炭は現在兩坑を併せて月一萬噸の出炭を算しつゝあるも本月中三井扱上海送り小量の積出しありたる外輸出皆無の状態にあり輸入炭は銀塊下落と夏の不需要期とを控へ捗々しき入荷を見ざれども内地炭況非況に伴ふ投賣安値物に吊られ多少の輸入を呼びつゝあり

◎鹽

春鹽不作に引續き本月に入りてより天候益々製鹽に適せず昨今收穫皆無の慘狀を呈せるにも拘らず市況何等の刺戟を見せずして依然沈衰狀態を示し普通鹽細板面四元乙種三元五六十錢の低値を稱へ居れるが既に日本政府約定筋は毎月相當の數量を積出し埠頭鹽業倉庫保管鹽も亦一萬數千噸を算するに過ぎざれば例令香港浦鹽方面の不況を挽回する能はずとするも貯鹽の減少と共に幾分市況の硬化を見るに至るべしと期待せらる

銀塊並英米爲替相場

(六月)

目次	倫敦先物	倫敦現物	紐育	英米爲替
六月一日	三 1/2	三 1/8	五 1/2	三六九
二日	三 1/2	三 1/4	五 3/4	三九一 3/4
三日	三 7/8	三 5/8	五 5/8	三九一 1/4
四日	三 7/8	三 5/8	五 1/8	三九七 3/4
五日	三 7/8	三 5/8	五 3/4	三九六
六日	三 7/8	三 5/8	五 3/8	三九七
七日	三 7/8	三 5/8	五 1/8	三八六 1/2
八日	三 7/8	三 5/8	五 1/8	三八六
九日	三 7/8	三 5/8	五 1/8	三八六

十一日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三六九
十二日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三九一 3/4
十三日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三九一 1/4
十四日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三九七 3/4
十五日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三九六
十六日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三九七
十七日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六 1/2
十八日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
十九日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
二十日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿一日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿二日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿三日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿四日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿五日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿六日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿七日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿八日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
廿九日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六
三十日	三 1/2	三 1/4	五 1/2	三八六

寄贈書類

(大正十年六月
中月到著分)

○月	報自第八八號	報至第一二〇號	報第三四四號	報第九號	報第一六六號
○月	岐阜商業會議所	福井商業會議所	大日本紡績聯合會	營口商業會議所	名古屋商業會議所

○月	報第一卷第二號	京都商業會議所
○月	報第一〇七號	下關商業會議所
○月	報第二九五號	橫濱商業會議所
○月	報第一三三號	仁川商業會議所
○月	報第一卷第四號	門司商業會議所
○月	報第二五四號	日本棉花同業會
○月	報第九號	青島取引所
○月	報第一三四號	富山商業會議所
○月	報第三四五號	大日本紡績聯合所
○月	報第二二五號	濟南實業協會
○月	報第三卷第六號	上海日本雜穀肥料同業組合
○週	自第三一八號至第二三四一號	漢口日本人商業會議所
○週	自第二三八號至第二四七一號	天津商業會議所
○週	自第四八一號至第五一八號	上海日本商業會議所
○週	自第三五八號至第四六一號	株式會社山本支店
○上	海自第四三六號至第五三八號	春申社
○公	論第八卷第六號	山東公論社
○公	陸第九卷第六號	大公論社
○時	報第一〇二八號	保險銀行時報社
○會	報第六月號	大亞義會本部
○所	報第一八二號	函館商業會議會
○所	報第一〇七號	長崎商業會議所
○所	報第三三五號	日本ポートランドセメント同業會
○所	報第一一二號	太田實業協會
○所	報第一五八號	岡山商工彙報社
○所	報第五號	上海公論社
○所	報第八卷第五號	內外商工時報社
○所	報第七卷第六號	東亞經濟調查局
○所	報第一六八號	東方通信社
○所	報第十六號	大坂商業會議所
○所	報第十三期	東京拓殖株式會社
○所	報第一一一號	民政道部鐵道會
○所	報第二七一號	東洋協會
○所	報第五四號	熊本商業會議所
○所	報第七一號	大連商業會議所
○所	貿易統計月表	大正九年青中 上海港貿易統計局
○所	青島港貿易統計	大正十年四月分 青島守備軍司令部
○所	事業報告	大正九年度 青島水產組合
○所	松花江沿岸地方經濟時報	第九卷滿州鐵道株式會社調查課
○所	紡績機械案內圖	大阪小麥鐵工所
○所	日本棉花同業會旬報	第三一九號 日本棉花同業會
○所	慰問旅行報告	日華實業協會
○所	商業研究所一覽	大正十年六月 神戸高等商業學校
○所	安東海關貿易統計第七號	滿洲鐵道株式會社 安東商業會議所

部之陸上港入

[illegible]

日	付	六月廿五日限		七月廿五日限		八月廿五日限		車數計
		車 數	信託 入值段	車 數	信託 入值段	車 數	信託 入值段	
十	一	74	12.05	132	13.50	—	—	206
十	二	92	12.10	107	12.60	—	—	199
十	三	166	12.25	238	12.70	12	12.90	416
十	四	203	12.50	330	12.95	29	13.20	560
十	五	164	12.55	292	12.95	29	12.25	485
十	六	90	12.55	102	13.00	30	12.35	222
十	七	49	12.50	180	13.00	31	12.25	260
十	八	—	—	—	—	—	—	—
十	九	50	12.30	136	12.89	37	12.10	223
十	十	38	12.25	187	12.75	75	13.00	300
二	十一	45	12.30	155	12.85	70	13.15	270
廿	十二	110	12.20	164	12.85	57	13.15	331
廿	十三	—	—	195	13.10	89	13.35	284
廿	十四	—	—	428	13.55	223	13.75	651
廿	十五	—	—	—	—	—	—	—
廿	十六	—	—	899	15.50	590	—	1,489
廿	十七	—	—	346	14.95	169	—	515
廿	十八	—	—	440	15.35	277	—	717
廿	十九	—	—	185	15.15	151	—	336
三	二十	1,795	—	5,355	—	1,869	—	9,019

青島港出入船舶旅客

(大正十年五月)

出 航 乘 船 之 部

區 別	男女別	大連	日本內地				朝鮮	上海	安東縣	芝罘	天津	臺灣	廣東	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
			大	神戶	門司	其他														
日本	人	156	14	172	412	44	9	39	—	—	1	1	—	—	2	—	—	—	—	850
	男女	40	10	71	176	13	9	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	328
支那	人	2,143	10	2	7	4	—	174	90	93	135	—	1	216	165	5,123	328	154	88	8,723
	男女	167	—	—	—	—	—	25	10	11	10	—	—	—	—	499	107	46	12	887
英國	人	1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
露國	人	11	—	—	1	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18
	男女	4	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
米國	人	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	男女	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
獨逸	人	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	男女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
佛國	人	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和蘭	人	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
葡萄牙	人	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瑞典	人	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
瑞西	人	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁抹	人	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男女	2,312	24	175	421	48	9	237	90	93	136	1	1	206	169	5,123	328	154	88	9,615
	女計	212	10	71	176	13	9	46	10	11	10	—	—	—	2	499	197	46	12	1,234
		2,024	34	246	597	61	18	283	100	104	146	1	1	206	171	5,622	435	200	100	10,849

青島取引所重要物產出來高表

(六月中)

落花生實

日	付	甲號六月十五日限		甲號七月十五日限		甲號八月十五日限		車數計
		車數	信託 帳入值段	車數	信託 帳入值段	車數	信託 帳入值段	
一二三四五	日 日 日 日 日	10 9 19 15 —	6.05 6.17 6.19 6.19 —	9 1 16 10 —	6.04 6.17 6.19 6.18 —	— — — — —	— — — — —	19 10 35 25 —
六七八九十	日 日 日 日 日	24 9 19 50 —	6.23 6.33 6.35 6.55 —	7 25 37 63 —	6.29 6.25 6.39 6.58 —	— — — — —	— — — — —	31 34 56 113 —
十 十 十 十 十	日 日 日 日 日	32 — 23 18 —	6.52 — 6.53 6.47 —	88 — 35 68 31	6.60 — 6.60 6.64 6.63	— — — — —	— — — — —	120 — 58 86 31
十 十 十 十二	日 日 日 日	— — — — —	— — — — —	66 23 31 — 42	6.74 6.71 6.77 — 6.87	— — — — —	— — — — —	66 23 31 — 42
廿 廿 廿 廿 廿	日 日 日 日 日	— — — — —	— — — — —	19 28 30 17 8	6.77 6.88 6.87 6.92 7.34	— — — — 11	— — — — 7.54	19 28 30 17 19
廿 廿 廿 廿 三	日 日 日 日 日	— — — — —	— — — — —	102 33 57 26	7.74 7.78 7.56 7.54	5 1 — 1	7.52 7.82 — 7.62	107 34 57 27
		228	—	872	—	18	—	1,118

落花生油粗油

日	付	六月廿五日限		七月廿五日限		八月廿五日限		車數計
		車數	信託 帳入值段	車數	信託 帳入值段	車數	信託 帳入值段	
一二三四五	日 日 日 日 日	28 95 46 125 —	11.75 11.85 11.90 12.05 —	54 68 64 144 —	12.00 12.10 12.20 12.35 —	— — — — —	— — — — —	82 163 110 269 —
六七八九	日 日 日 日	124 74 115 107	12.10 11.95 12.05 12.15	159 85 96 171	12.35 12.30 12.40 12.60	— — — —	— — — —	283 159 211 278

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
昆布其他海草	發著	—	—	—	—	—	—	—
幕	"	—	—	—	—	80.3	—	80.3
木	"	—	—	—	—	—	—	—
粉	"	—	—	—	0.7	—	—	0.7
雜貨(表巾記載ノ)	"	957.9	3.8	7.6	—	—	—	969.3
貨(モノヲ除)	"	49.7	2.0	3.4	—	—	—	55.1
燐	"	16.3	1.4	303.9	—	—	—	321.6
燐	"	7.0	—	77.7	—	542.5	—	627.2
寸材	"	—	—	—	1.4	—	—	1.4
硫磺	"	—	—	—	—	—	—	—
化藥	"	—	—	—	—	—	—	—
鐵類	"	0.8	—	—	0.2	—	—	0.8
銅	"	—	3.4	—	—	—	—	0.2
貨	"	110.1	0.7	—	—	—	—	3.4
青	"	—	—	—	—	—	—	110.8
鉄	"	—	0.5	—	—	—	—	—
銅	"	—	—	—	—	—	—	0.5
子	"	—	—	—	—	—	—	—
家	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
具	"	2.1	1.1	72.5	—	—	—	75.7
麻袋及布袋	"	0.1	0.1	5.0	—	—	0.2	5.4
容	"	1.2	1.8	2.4	—	—	—	5.4
蠟	"	175.5	45.5	3.5	—	44.6	—	269.1
飲	"	20.5	26.2	5.9	—	—	—	52.6
料	"	—	—	—	—	—	—	—
機	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
砂	"	51.9	9.4	—	—	—	—	61.3
割	"	39.4	3.9	102.7	—	—	—	146.0
石	"	0.8	2.2	—	—	3.1	—	6.1
子	"	—	9.8	—	—	—	—	9.8
其他	"	4.8	0.2	—	—	—	—	5.0
豚	"	—	—	—	—	1,388.8	0.6	1,389.4
羊	"	—	—	—	—	—	—	—
馬	"	42.0	41.2	113.2	—	56.6	0.5	253.5
及	"	309.7	7.1	89.2	1.3	89.3	—	496.6
驢	"	—	—	—	—	—	—	—
牛	"	6.9	—	—	—	—	—	6.9
計	"	—	—	—	—	—	—	—
計	"	13,690.6	461.6	1,311.4	—	5,178.4	3.3	20,555.3
	"	4,965.7	147.5	6,544.4	7.9	14,528.8	—	26,194.4

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
牛油類 (表中記載除ノ)	發著	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.7	0.2	3.0	—	—	—	7.9
	"	6.7	6.0	15.0	—	24.9	0.1	52.7
	"	7.2	0.6	—	—	—	—	7.8
	"	921.9	0.1	—	—	—	—	922.0
油類	"	25.5	—	334.3	—	—	—	361.8
肥料各真種田平	"	58.9	0.9	77.2	—	45.0	—	182.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	96.4	0.2	—	—	—	—	96.6
	"	—	0.3	0.1	—	57.0	—	57.4
	"	60.1	0.1	2.5	—	—	—	62.7
藥及栗稗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	41.8	—	—	—	—	—	41.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	926.6	4.2	1.8	—	73.3	—	1,005.9
鹽砂	"	—	—	—	—	—	—	—
日本一那酒	"	3.8	7.4	1.3	—	—	—	12.5
	"	—	0.8	—	0.1	—	—	0.9
	"	—	18.3	—	—	—	—	18.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.1	—	—	—	—	—	0.1
支那酒	"	—	2.9	—	—	—	—	2.9
食料品 (表中記載除ノ)	"	378.1	18.8	1.7	—	—	—	398.6
	"	43.8	1.8	—	—	14.3	—	59.9
	"	—	1.9	—	—	—	—	1.9
	"	—	1.5	—	—	—	—	1.5
	"	9.6	0.3	—	—	—	—	9.9
乾野物菜	"	59.6	4.0	—	—	—	—	63.6
鷄藍染塗料	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	310.4	37.4	1,028.7	—	51.0	—	1,427.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	95.4	5.4	1.0	—	3.2	—	105.0
	"	19.7	0.6	5.0	—	15.0	—	40.3
藥品及藥材達鹼	"	40.6	13.7	14.0	—	24.6	—	92.9
	"	—	2.1	0.1	0.1	—	—	2.3
	"	14.2	1.1	—	—	14.0	—	29.3
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	3.4	5.3	—	—	—	—	8.7
石鹼	"	4.3	0.2	0.2	—	—	—	4.7
煙草	"	62.4	45.0	—	—	115.5	—	222.9
	"	8.6	1.5	2.7	—	—	—	12.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	102.5	0.6	9.1	—	112.2
	"	67.6	3.9	—	—	—	—	71.5
煙葉茶	"	3.8	0.1	0.1	—	—	—	4.0
豚羊獸毛骨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3.0	—	—	—	—	—	3.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	22.9	0.4	—	—	35.0	—	58.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
牛豚魚	"	102.8	—	1.1	—	129.6	—	233.5
皮皮類	"	2.1	0.3	—	—	—	—	2.4
	"	9.2	0.5	26.6	—	—	—	36.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	7.3	1.4	—	—	—	—	8.7
	"	1,093.4	63.8	—	—	—	—	1,157.2
魚類	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
大豆	發著	1,254.9	—	—	—	—	—	1,254.9
豆類 (大豆ヲ除ク)	"	268.9	0.5	18.2	—	—	—	287.6
高粱	"	8.7	0.1	—	—	—	—	8.8
	"	1,393.9	—	115.4	—	—	—	1,509.3
小麥	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	376.6	—	15.0	—	—	—	391.6
	"	30.0	—	—	—	—	—	30.0
米	"	1.3	12.0	1.0	—	—	—	14.3
	"	310.2	—	—	—	—	—	310.2
穀類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	3,280.6	0.4	70.8	—	—	—	3,351.8
	"	36.2	1.8	—	—	—	—	38.0
落花生	"	—	—	2.9	—	—	—	2.9
	"	369.3	0.9	984.7	—	2,800.4	—	4,155.3
麥粉	"	48.4	4.2	0.8	—	—	—	53.4
	"	—	0.8	5.0	—	—	—	7.6
陶磁器及土器	"	—	0.7	—	1.8	—	0.2	0.9
	"	90.8	—	225.2	—	—	—	316.0
支那紙	"	165.7	2.5	9.2	—	—	—	177.4
	"	—	4.3	—	—	—	—	4.3
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	—	—	0.5	—	34.6	—	35.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	5.5	1.0	—	—	—	—	6.5
綿花	"	16.6	0.1	3.2	—	841.6	—	861.5
	"	11.1	—	28.7	—	—	—	39.8
綿布	"	254.3	15.5	—	—	165.2	—	435.0
	"	3.4	10.4	—	—	—	—	13.8
綿絲	"	1,014.4	62.6	6.4	—	71.3	—	1,154.7
	"	—	0.5	311.6	—	13.7	—	325.8
綿製品	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	2.3	2.2	—	0.4	—	—	4.9
絹絲 (屑ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	10.1	0.7	—	—	—	—	10.8
絹布類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	6.4	7.9	—	—	—	—	14.3
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.9	0.6	240.0	0.1	22.7	—	268.3
棗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	11.6	—	—	—	—	—	11.6
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
乾柿	"	—	—	—	—	—	—	—
胡桃	"	—	—	—	—	—	—	—
密柑	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
瓜及西瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3.0	0.6	—	—	—	—	3.6
瓜子	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
果實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	4.0	6.1	—	—	—	—	10.1
石油	"	—	0.2	392.5	—	459.9	—	852.6
	"	4.9	—	—	—	—	—	4.9
落花生油	"	301.4	—	1,670.2	—	—	—	1,971.6
豆油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	58.7	—	38.2	—	—	—	96.9

品名			單位	移入	移出	灣內運輸	品名			單位	移入	移出	灣內運輸
花胡桐上	生麻	油油紙紙	擔同同同同	6,421	5,848	5,072	曹麥牛重輕	稈早木木頭	達田油料料	擔同同同同	—	628	—
胡乾鹽陶葦	等	椒柿豚器草	同同頭擔同	—	—	—	葉羅大鮮粉	等	煙葡萄酒絲	同同同同同	11	3	25
食酒海香瓜胡		鹽鼠仁子麻	同同同同同	629	—	32	胡柳木雜三莞		桃篠梓木紙豆	同同本擔同同	—	—	—
				—	—	—					—	—	—
				—	—	—					—	28	44
				—	—	—					—	—	1,202
				42	223	18					78	—	581
				—	—	238					—	28	16
				—	—	24,307					—	14	13
				—	—	—					450	63	—
				—	2	2					3,351	—	91
				3	36	215					4,843	5	624
				34	—	—					3,633	—	5
													110

青島三驛發着貨物統計 (大正十年六月)

(單位噸 獸類ハ頭數)

品名		發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
			一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石	炭	發著	15.0	0.2	—	—	—	—	15.2
		"	1,435.0	1.0	225.0	1.0	8,522.0	—	10,184.0
		"	—	1.7	—	—	—	—	1.7
		"	36.00	0.2	—	—	2,000.6	—	2,360.8
石	灰	"	—	—	—	—	—	—	—
		"	—	—	—	—	768.0	—	768.0
		"	—	—	—	—	—	—	—
		"	—	—	—	—	—	—	—
煉瓦	(瓦ヲ含ム)	"	14.5	—	—	—	—	—	14.5
		"	—	0.1	6.9	—	—	—	7.0
		"	1.8	3.5	24.0	—	276.5	—	305.8
		"	30.0	0.5	165.0	—	30.0	—	225.5
硝子	板	"	2.4	1.0	—	—	—	—	3.4
		"	—	0.8	—	—	—	—	0.8
硝子製品	桐	"	—	0.1	—	—	5.9	0.5	6.5
		"	20.3	0.8	—	0.1	—	—	21.2
		"	—	—	—	—	—	—	—
		"	329.0	—	858.2	0.1	1.5	—	1,188.8
木材	(板ヲ含ム)	"	140.6	19.8	16.5	—	726.1	—	903.0
		"	8.2	0.3	—	—	—	—	8.5
竹及割竹	白	"	22.8	0.1	—	—	3.0	0.3	26.2
		"	—	1.9	—	—	—	—	1.9
		"	—	—	—	—	—	—	—
		"	—	—	—	—	—	—	—
石材及同製品	鐵板鐵製品	"	5.6	—	—	—	—	—	5.6
		"	12.6	0.2	—	—	—	—	12.8
鐵板鐵製品	鍋鐵	"	63.2	22.2	11.0	—	106.0	0.9	203.3
		"	1.2	2.6	0.6	—	26.6	—	31.0
		"	—	—	—	—	—	—	—
		"	118.4	0.1	—	—	—	—	118.5
鐵古	鐵	"	317.1	—	—	—	14.9	—	332.0
		"	14.8	—	0.2	—	—	—	15.0

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
生同同同同	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
絲	"	—	—	—	—	—	—	1	—	1
白	"	—	—	—	—	—	—	21	—	21
座再	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機座再	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機	"	31	—	—	—	—	—	57	—	88
製綢	"	80	—	—	—	—	—	78	—	158
綢	"	—	—	—	—	—	—	3	—	3
絲東	"	—	—	—	5	—	2	—	—	7
同屑屑生山	"	3	—	—	168	—	31	5	—	207
生	枚	2,738	—	—	—	—	—	—	27	2,765
麥同同	"	—	—	—	—	—	—	460	—	460
真班白	"	1,812	—	—	—	193	—	273	—	466
牛	"	—	—	—	—	569	—	103	6	2,490
牛下桐葉蔬	兩	2,729	—	—	—	—	56	—	—	2,785
木太	"	140,231	—	—	—	—	451	—	—	140,685
丸	"	36,922	—	—	—	—	623	—	—	37,545
桃麥毛	"	398	—	—	—	—	419	9,503	483	10,803
米	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胡小羊	"	18	—	—	—	—	—	—	—	18
	"	3,639	—	—	—	—	—	—	—	3,639
	"	—	—	—	—	—	—	314	—	314

民 船 貿 易 (大正十年五月)

一 膠 海 關 統 計 一

品名	單位	移入	移出	灣內運輸	品名	單位	移入	移出	灣內運輸
竹竹豆黑綠	本擔	710	—	—	紅鷄絲	擔	—	—	28
豆	同同	380	—	3	(麻)	個	1,019,960	—	3,891,300
黃豆	同同	26,954	—	44	大	"	43,500	—	—
白雞牛	同同	1,738	—	—	苧	同	—	489	51
牛	同同	173	—	—	鹽	同	—	—	—
麵	同同	16,082	—	495	麥	同	10,458	37	303
	個	87	—	480	(鮮)	同	3,008	255	462
	個	266	70	274	林	同	—	—	—
	個	563	—	—	葡梨山蒜鮮	同	—	—	—
(糧食品)	擔	230	—	—	落花生	同	—	—	—
大高玉粟	同同	43,882	—	—	落花生	同	—	—	—
蜀	同同	99,649	—	48	牛	同	—	—	—
	同	15	—	654	花生	同	—	—	—
麥	同同	202	—	—	生仁皮	同	206	168	2,904
麥	同同	35,636	—	15	油	同	37,177	6	9,520
麥	同同	—	—	—	油	同	125	23	35
麥	同同	49	—	—	油	同	—	827	2
麥	同同	—	—	—	油	同	—	—	25
炭	噸	—	1,502	1,761	灰	同	—	2,002	115
炭	擔	—	69	9	灰	同	1,589	2,716	4,900
炭	擔	—	—	10	灰	同	—	1	15
炭	擔	693	—	5	灰	同	—	618	5
炭	擔	—	—	—	灰	同	—	—	—

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
三生同同石 麥砂同茶煙木	擔	146	—	—	—	146
	斤	3	—	—	—	3
	斤擔	1,478	—	—	—	1,478
	〃	67	—	—	—	67
	〃	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	222	222
	〃	879	—	—	—	879
蒸絲 精條 真刻 製	〃	34	—	—	—	34
	〃	10	—	—	—	10
	〃	—	—	—	—	—

輸出支那品仕向地別 (大正十年五月)

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生豆黃牛麥	頭	256	—	—	—	—	149	—	—	405
	擔	18,393	—	—	—	—	—	—	—	18,393
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クォーター打	5,565	—	—	—	7,282	82	34	—	12,963
獸銅豚セ山	擔	9,670	—	—	—	—	—	—	—	9,670
	〃	2,199	—	—	—	—	196	—	—	2,395
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	噸	3,520	300	1	200	406	1,110	7,192	300	16,449
コ棉綿鹽黑	〃	1,055	—	—	—	—	20	15	—	1,090
	擔	251	—	—	—	—	—	—	128	379
	〃	—	—	—	65	—	—	—	41	106
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋蛋鵝鹽果	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	2	—	—	—	—	—	—	—	2
	擔	69,006	—	—	3	—	—	—	—	69,009
	〃	—	—	—	—	—	—	—	430	430
硝落同頭麥	〃	—	—	—	4	—	—	76	107	187
	〃	2,261	—	420	—	1,680	1,261	504	—	6,126
	〃	20,929	—	791	—	54,497	—	33,973	37,885	148,075
	個	92	—	—	—	—	102	31	—	123
鐵藥豆落梨	擔	53,760	—	—	—	—	—	—	—	53,760
	〃	12	—	—	27	—	30	14	—	83
	〃	115	—	—	6,396	1,695	3,460	345	11,610	25,337
	〃	—	—	1,716	—	—	—	—	—	—
鹽鹽杏瓜胡	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	268,251	—	—	13,440	420	—	—	—	282,111
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	36	—	—	—	—	—	108	28	136
牛粕豆肉酒	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
骨塊毛ト炭	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	噸	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス花絲 棗	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白黃卵魚鮮	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
品生仁髮子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
礦油油	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚 仁子麻	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
紙胡	擔	988	—	—	—	—	635	4	—	1,627
昆日	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石同曹醬砂	〃	4,313	—	—	1,191	—	—	—	—	5,504
同同茶木	〃	21	—	—	45	—	—	—	—	66
同同茶木	〃	540	—	—	—	—	—	50	—	590
同同茶木	〃	6	—	—	—	—	4	—	—	10
同同茶木	海關兩	1,537	—	—	78	—	692	—	—	2,307
同同茶木	擔	616	—	—	—	—	87	25	—	728
同同茶木	〃	407	—	—	—	—	—	240	—	647
同同茶木	〃	—	—	—	7,039	—	—	—	—	7,039
同同茶木	〃	—	—	—	63	—	—	—	—	63
同同茶木	〃	3,905	—	—	9	—	2	—	—	3,916
同同茶木	〃	—	—	—	555	—	—	—	—	555
同同茶木	〃	38	—	—	—	—	1	—	—	39
同同茶木	立方呎	1,108	—	20,761	—	—	13,570	—	—	35,439
同同茶木	〃	51,465	—	178,552	—	—	—	—	—	230,017
同同茶木	〃	461	—	—	—	—	—	—	—	461

輸入支那品仕出地別

(大正十年五月)

品目	單位	上海	芝罘	大連	其他	合計
(綿製品類)	疋	28,634	—	—	20	28,654
シ雲土花	〃	1,383	—	—	—	1,383
シ雲土花	擔	13	—	2	—	15
シ雲土花	〃	280	—	—	—	280
シ雲土花	擔	8,548	—	—	—	8,548
シ雲土花	〃	36	—	—	—	36
シ雲土花	個	227,088	—	—	—	227,088
シ雲土花	擔	2,046	—	—	—	2,046
シ雲土花	〃	52	—	—	2	54
シ雲土花	〃	34	—	—	—	34
シ雲土花	〃	—	—	—	—	—
シ雲土花	〃	158	—	—	—	158
シ雲土花	〃	—	—	—	—	—
シ雲土花	〃	—	—	—	—	—
シ雲土花	〃	—	—	—	—	—
シ雲土花	〃	2	—	1	—	3
シ雲土花	噸	2,999	7	63	—	3,069
シ雲土花	〃	—	—	200	—	200
シ雲土花	擔	5,149	—	—	—	5,149
シ雲土花	〃	145,015	—	—	—	145,015
シ雲土花	〃	2,438	—	113	—	2,551
シ雲土花	〃	43	—	—	17	60
シ雲土花	〃	33	—	—	6	39
シ雲土花	〃	19	—	—	21	40
シ雲土花	〃	193	—	—	—	193
シ雲土花	〃	450	—	—	11	461
シ雲土花	〃	4,936	—	—	800	5,736
シ雲土花	〃	257	—	—	301	558
シ雲土花	〃	388	—	56	—	438
シ雲土花	〃	54	—	10	33	97

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
鐵屑鐵及屑鐵條線箍一板	擔	545	—	—	232	—	357	29	—	1,163
鐵及屑鐵	擔	—	—	—	183	—	753	—	—	936
鐵及屑鐵	擔	—	—	—	—	—	169	—	—	169
鐵及屑鐵	擔	30	—	—	243	—	524	—	—	797
鐵及屑鐵	擔	150	—	—	315	—	303	—	—	769
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	95	—	—	163	—	208	—	—	466
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	4,712	—	—	2,454	—	1,117	—	—	8,283
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	33	—	240	—	—	273
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	241	—	—	—	—	241
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	125	—	11	—	—	136
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	20	—	—	20
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	364	—	—	2,176	—	705	—	—	3,245
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	588	—	—	—	—	626	—	—	1,214
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	42	—	—	—	—	5	3	—	50
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	2	—	—	—	—	—	—	—	2
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	7	—	—	7
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	962	—	—	—	—	—	—	—	962
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	6	—	—	—	—	—	—	—	6
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	14,741	—	—	—	—	—	87	—	14,828
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	398	—	—	—	—	—	—	—	398
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	5,157	—	—	—	—	99	—	—	5,256
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	4,000	—	11	2,555	—	—	6,556
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	655	—	655
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	426	19	—	—	—	126	12	—	583
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	1,312	—	—	—	—	—	—	—	1,312
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	5	—	—	5
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	2,045	—	—	—	—	—	—	—	2,045
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	616	—	—	—	—	9,835	343	—	10,794
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	1,316	20	—	1,336
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	50	—	—	—	—	50
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	10	—	—	25	—	—	—	—	35
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	2	—	—	—	—	8	—	—	10
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	7,397	—	228	—	129	5,415	260	—	13,429
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	400	—	—	—	—	10	23	—	433
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	13	—	—	—	—	—	—	—	13
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	303	—	—	—	—	694	237	—	1,234
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	2,155	75	93	—	115	115	—	—	2,553
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	2,116	—	—	—	—	309	330	—	2,755
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	103,900	—	—	—	—	—	—	—	103,900
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	55	—	—	—	—	—	1,800	—	1,855
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	19,977	—	—	—	—	5,060	—	—	25,037
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	69	—	—	69
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	18,891	—	335	928	33	652	950	—	21,793
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	5,600	—	—	—	—	3,205	—	—	8,805
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	215,405	—	—	215,405
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵(古)片塊鐵	擔	511	—	—	—	—	—	—	—	511

青島輸出入貿易

(大正十年五月)

—膠海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
(綿製品類)										
生金布	疋	6,719	—	—	—	—	4,940	—	—	11,659
シーチング (米品)	〃	—	—	—	—	—	700	—	—	700
同 (英品)	〃	—	—	—	—	—	1,260	—	—	1,260
同 (日本品)	〃	10,580	—	—	—	—	1,140	800	—	12,520
晒綾雲同										
金布	〃	2,770	—	—	—	—	12,756	—	—	15,526
齊布 (米品)	〃	—	—	—	—	—	283	—	—	283
同 (英品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	—	—	—	—	—	190	—	—	190
同	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ジエーン (米品)										
同天竺布三十二時	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	〃	—	—	—	—	—	40	—	—	40
同	〃	300	—	—	—	—	—	—	—	300
同	〃	—	—	—	—	—	8,062	—	—	8,062
同	〃	19,190	—	—	—	—	2,240	40	—	21,470
寒綆斜捺捺										
冷紗及綿紗	〃	78	—	—	—	—	1,288	20	—	1,386
綆綆綆	〃	572	—	—	—	—	2,884	—	—	3,456
綆綆綆	〃	—	—	—	—	—	50	—	—	50
綆綆綆	〃	—	—	—	—	—	217	—	—	217
綆綆綆	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
コットンイタリアン及ラッス井ン										
同同同同同	〃	—	—	—	—	—	3,600	—	—	3,600
同同同同同	〃	3,124	—	—	—	—	6,285	400	—	9,809
同同同同同	〃	—	—	—	—	—	2,683	—	—	2,683
同同同同同	〃	609	—	—	—	—	182	—	—	791
同同同同同	〃	90	—	—	—	—	135	—	—	225
緋金巾及綿天竺布										
同同同同同	〃	4,171	—	—	—	—	240	—	—	4,411
同同同同同	〃	—	—	—	—	—	36	400	—	36
同同同同同	〃	286	—	—	—	—	—	—	—	286
同同同同同	〃	23	—	—	—	—	1	—	—	24
同同同同同	〃	575	—	—	20	—	24	—	—	619
タオ (日本品)										
同同同同同	〃	6	—	—	—	—	—	—	—	6
同同同同同	〃	2	—	—	—	—	—	—	—	2
同同同同同	〃	—	—	—	—	—	1,152	—	—	1,152
同同同同同	〃	3,822	—	—	—	—	105	—	—	3,927
同同同同同	〃	1,810	—	—	—	—	—	—	—	1,810
(毛製品類)										
綾伯林 (雜質)	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同同同同同	斤	1	—	—	—	2	—	—	—	3
同同同同同	斤	2,299	—	—	—	—	429	130	—	2,831
(金屬品)										
銅銅銅	擔	7	—	—	—	—	—	—	—	7
同同同同同	〃	15	—	—	—	—	—	—	—	15
同同同同同	〃	9	—	—	—	—	—	—	—	9
(鐵及軟鐵新)										

青島實業協會員

(定不序順)

會 員	代表者	所 在	會 員	代表者	所 在
岩城商會支店	田邊都太郎	早舟町	山東葉煙草株式會社	伊東經真	輕藻町
伊藤忠商事株式會社青島支店	上林喜三太郎	所澤町	江商株式會社青島支店	一宮晃	所澤町
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	安部幸兵衛商店青島出張店	副島高市	所澤町
日本郵船株式會社青島出張事務所	西岡勝三郎	葉櫻町	湯淺貿易株式會社青島出張所	小林乃	所澤町
日本綿花株式會社青島支店	鶴原梅次郎	北京町	三井物產株式會社青島支店	櫻井信四郎	所澤町
東和公司青島支店	河原熊太郎	北京町	峯村洋行	大塚彌	所澤町
東亞煙草株式會社青島販賣所	西村義郎	北京町	合名會社鈴木商店青島出張所	迫田彦助	吳淞町
朝鮮銀行青島支店	讚井源輔	所澤町	中村組青島支店	關口四平	吳淞町
大倉商事株式會社青島出張所	石橋藤次郎	早霧町	東洋鹽業株式會社青島支店	貝原收藏	大和町
橫濱正金銀行青島支店	野原大輔	所澤町	泰利商會	松崎翠	早霧町
大連汽船株式會社青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	山東興業株式會社	空閑知鷺治	葉櫻町
大日本麥酒株式會社青島出張所	三宅重孝	臺東鎮長通市外四方庄	吉澤洋行	吉澤干城	市場通
內外綿株式會社青島出張所	佐々木國藏	早霧町	青島製粉株式會社支店	百溪深	三月月町
山田出張所	山田三平	市場通	新利洋行出張所	古賀茂登吉	野山町
三菱商事株式會社青島出張所	東條吉之助	早舟町	福昌公司青島出張所	武田昌雄	若葉町
神戸棧橋株式會社青島派出所	鹽谷治太郎	葉櫻町	龍口銀行青島支店	原田昇	保定町
山東運輸株式會社青島支店	神谷武松	北京町	濱口商事株式會社青島出張所	榎本勝吉	吳淞町
日華協信公司青島支店	藤波茂時	若鶴町	青島銀行	石井久次	市場通
青島絲廠	鈴木格三郎	若鶴町	日華窯業株式會社	中村康之助	滄口町
山東化學工業所	磯野清平	早霧町	大日本紡績株式會社	河村英熊	筑後町
青島鹽業株式會社	入部泰藏	佐賀町	大阪商船株式會社	大黑町	早霧町
東洋殖產株式會社青島支店	針貝金次郎	若鶴町	正隆銀行支店	松本正平	大黑町
東洋製油株式會社青島支店	田中穆	靜岡町			
大星公司青島支店	遠藤要				
青島取引所信託株式會社	峰村正三				

大正十年七月十八日印刷

大正十年七月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
(每月一回二十日發行)

發行兼編輯者
印刷所
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地
青島靜岡町十番地
青島靜岡町十四番地
青島靜岡町十四番地
青島實業協會
青島新報社
青島新報社
青島新報社
(實費金參拾錢)